

ごみ処理広域化の計画の推進に賛成します。

賛成討論(田中榮二) 今回の村議選出馬にあたり「新ごみ焼却施設の整備について、広域化の枠組みを基本とするが白紙に近い状態から考えるべきである」と言ってきました。しかし、今日までさまざまな方の説明・意見などを聞いてきましたが、多額な建設費や将来にわたる維持管理費などを考えると、とても広域化の枠組みを外すことはできませんでした。3市村の皆様とともに協力し合い、併せてごみ減量化推進を図りながら建設すべき施設と考えます。私自身、第4次総合計画の審議メンバーでもありましたし、よってこの決議に賛成をいたします。

◆ごみ処理広域化計画推進に関する決議文

白馬村議会は、白馬山麓環境施設組合議会とともに、ごみ処理広域化計画の検討を進め、平成17年12月定例会中において広域化を進めるべしとして、全議員が賛同しました。そして、事業に必要な予算や広域連合規約の改正をその都度議決し、行政とともに推進の一翼を担ってきたところであります。

アンケートの結果、建設候補地飯森地区が断念されたことにより一部の住民から広域化計画そのものまでを見直す意見が出されていますが、建設費、維持管理費の軽減などといった財政面や環境への負荷を最小限に抑えるためにもごみ処理の広域化計画を推進することが、大切であるとの認識を新たにしているところであります。これまでの経緯を充分認識するとともに、ごみの減量・分別の推進にも積極的に取り組んでいきます。

白馬村議会は、ごみ処理広域化の必要性を再確認し、その実現にむけ推進していくことを、ここに決議します。



プレミアム付商品券

●平成20年度一般会計補正予算

問

(渡辺俊夫) 固定資産税滞納繰越分1599万円増の理由は。

答

(総務課長) 過去に差押え等をした物件が、民々の売買・競売とかで割り当てがあって入ってきたこと

が、大きな原因であります。

問

(渡辺俊夫) 区長報酬の減額理由は。

答

(総務課長) 均等割3500円、広報の配布戸数により1戸当たり500円ということと算出しています。それにより、結果的に予算が余ったということです。

問

(渡辺俊夫) 戸数が減ったということですか。

答

(総務課長) 毎年区長会議の際に、戸数を調査していますが、当初予算より配布戸数が少なかったという結果です。

●平成21年度一般会計補正予算

問

(渡辺俊夫) 平地観光の観光施設修繕費とは何ですか。

答

(観光農政課長) 地域発元気づくり事業補助金をいただき、塩の道・白馬小径の道標整備を行います。

問

(渡辺俊夫) プレミアム商品券は、どのような形で実施するのですか。また、商品券の運用方法は。

答

(総務課長) 1000円券12枚綴り1セット1万円として、一回5セットの購入に限定して5000セット用意します。使用期間・使用できる店・発売日等は、商工会で住民に周知を図るようになります。村内での使用に限定され、細部は今後決定していきます。